



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月9日

上場会社名 大木ヘルスケアホールディングス株式会社
コード番号 3417 URL <http://www.ohki-net.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井 秀正

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務取締役 (氏名) 宇部 由信

TEL 03-6892-0710

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	81,416	10.4	246	2.2	535	10.1	529	48.5
2023年3月期第1四半期	73,714	5.9	241	82.8	486	31.6	356	58.7

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,381百万円 (101.9%) 2023年3月期第1四半期 684百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2024年3月期第1四半期	38.40	
2023年3月期第1四半期	25.86	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	127,662	25,349	19.7
2023年3月期	122,539	24,271	19.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 25,206百万円 2023年3月期 24,125百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円銭	円銭	円銭	円銭 22.00	円銭 22.00
2024年3月期					

(注) 2024年3月期の配当予想につきましては、この四半期決算短信の発表時点において、未定としております。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

2024年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染症法上の類型が「5類」に引き下げられることに伴う影響及びインバウンド需要の回復に伴う影響等を現時点において算定する事が困難である為、この四半期決算短信の発表時点において未定としております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	14,072,100 株	2023年3月期	14,072,100 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	280,575 株	2023年3月期	280,575 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	13,791,525 株	2023年3月期1Q	13,791,525 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想等の前提となる条件及び業績予想等のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記).....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(当期の経営成績)

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続いたものの、行動制限が緩和されたことにより、社会・経済活動に回復の兆しが見え始め、景気は緩やかな持ち直しの動きが続いています。その一方で、ウクライナ情勢の長期化、エネルギー・原材料価格の高騰、為替の変動に伴う物価上昇など、消費環境は厳しい局面を迎えており、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは「医薬品スタンディングの美と健康と快適な生活にウイングを持つ需要創造型の新しい中間流通業」として、生活者の多種多様な潜在需要の顕在化を目指し、医薬品・健康食品・化粧品・衛生医療用品から、日用雑貨品に至るまで、生活者が満足して購入し、使って頂けるヘルスケアカテゴリーを積極的に提案し供給に努めてまいりました。

当社グループの属するヘルスケア業界におきましては、感染症予防対策としてのマスクや抗原検査キット、消毒液等は、前年度の反動により需要減となりました。反面、風邪薬や解熱鎮痛剤等の医薬品や健康食品・化粧品等の商材が前年を大きく上回りました。

しかしながら、インバウンド需要の激減、人口減少による需要の減退、大手ドラッグストアの業界再編による規模拡大、人件費・物流コストの上昇、電気代の急騰、販売競争の激化等、当社グループを取巻く経営環境は厳しさを増しております。

このような状況のもと、中長期的な将来展望を踏まえ、未来に向けてチャレンジし続ける企業文化を構築するとともに、健康寿命延伸産業の中核流通となるべく、企業価値向上に取り組んでまいりました。

そのため、考え方を共有する小売店とパートナーシップを組み、医薬品・健康食品・化粧品・衛生医療用品、更には日用雑貨品に至るまで消費者が満足して購入し使って頂けるカテゴリー提案を積極的に行うとともに、店頭での販売力を強化する為の「インスタマーチャンダイジング」の展開など中長期的な企業価値向上や持続的な成長を目指し、市場シェアを拡大するべく事業を積極的に展開いたしました。

具体的には、「新しい売上を作る!新しいお客様を作る!」べく、新しいカテゴリーへの取組を強化するとともに、広範な商品調達力の拡充と非価格競争のできる商流力アップに努めてまいりました。

また、専売品の売上構成を高めるとともに、利益構造の改革を図り適正利益の確保に努めてまいりました。

さらに物流部門の生産性向上による経費抑制効果や効率改善に向けたDX(デジタルトランスフォーメーション)を進め業務改革に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は81,416百万円(対前年同期比10.4%増)、連結経常利益は535百万円(対前年同期比10.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は529百万円(対前年同期比48.5%増)と増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ、受取手形及び売掛金が5,204百万円増加した事等により、結果として5,123百万円増加の127,662百万円となりました。また、負債は、仕入債務が3,778百万円増加した事等により、4,044百万円増加の102,312百万円となり、純資産は、その他有価証券評価差額金が849百万円増加した事等により、1,078百万円増加の25,349百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績見込につきましては、新型コロナウイルスの感染症法上の類型が「5類」に引き下げられるに伴う影響及びインバウンド需要の回復に伴う影響等を現時点において算定する事が困難である為、未定としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,240	2,367
受取手形及び売掛金	66,394	71,598
棚卸資産	23,755	23,799
その他	11,341	11,039
貸倒引当金	△14	△16
流動資産合計	104,717	108,789
固定資産		
有形固定資産	5,716	5,687
無形固定資産	169	163
投資その他の資産		
投資有価証券	7,503	8,737
その他	4,455	4,303
貸倒引当金	△22	△19
投資その他の資産合計	11,936	13,021
固定資産合計	17,822	18,872
資産合計	122,539	127,662
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	56,944	58,251
電子記録債務	21,181	23,652
短期借入金	6,617	6,515
引当金	295	480
その他	9,329	9,441
流動負債合計	94,367	98,341
固定負債		
長期借入金	1,845	1,757
引当金	233	222
退職給付に係る負債	907	896
その他	913	1,094
固定負債合計	3,899	3,970
負債合計	98,267	102,312
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,486	2,486
資本剰余金	1,432	1,432
利益剰余金	16,640	16,866
自己株式	△255	△255
株主資本合計	20,303	20,529
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,866	4,716
退職給付に係る調整累計額	△44	△39
その他の包括利益累計額合計	3,821	4,676
非支配株主持分	146	143
純資産合計	24,271	25,349
負債純資産合計	122,539	127,662

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	73,714	81,416
売上原価	70,069	77,337
売上総利益	3,644	4,079
販売費及び一般管理費	3,403	3,833
営業利益	241	246
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	27	29
仕入割引	62	72
情報手数料	106	118
その他	62	81
営業外収益合計	262	305
営業外費用		
支払利息	8	8
売上債権売却損	7	6
その他	1	0
営業外費用合計	17	16
経常利益	486	535
特別利益		
投資有価証券売却益	24	—
受取補償金	—	206
特別利益合計	24	206
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	510	741
法人税、住民税及び事業税	205	412
法人税等調整額	△41	△197
法人税等合計	164	215
四半期純利益	346	526
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△10	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	356	529

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	346	526
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	333	849
退職給付に係る調整額	4	5
その他の包括利益合計	337	855
四半期包括利益	684	1,381
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	694	1,384
非支配株主に係る四半期包括利益	△10	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

該当事項はありません。